

YOKOSUKA GAKUIN

JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

[6年一貫教育]



敬神

それゆえ、信仰と、希望と、愛、
この三つは、いつまでも残る。
その中で最も大いなるものは、愛である。

コリントの信徒への手紙一 13章13節

愛人

建学の精神

「敬神・愛人」

「敬神」とは、人間が自己中心的に行動することを戒め、
神を敬い、謙虚に自己を認識することを意味しています。

「愛人」とは、自分と他者は神の下でみな平等であって、
他者をかけがえのない人格として尊重する心を意味しています。

横須賀学院は、この「敬神・愛人」を教育の基本精神としたキリスト教教育を行っています。

ミッションステートメント

横須賀学院は キリスト教の信仰に基づく教育によって
神の前に誠実に生き 真理を追い求め
愛と奉仕の精神をもって 社会に 世界に対して
自らの使命を果たす 人間の育成を目指します

■ 院長メッセージ

院長 川名 稔

終戦直後の1950年(昭和25年)に創設された本校は、建学の精神である「敬神・愛人」のもと、キリスト教に基づく人格教育に邁進してきました。毎日の礼拝・聖書の授業・キリスト教行事を通して、「如何に生きるべきか」を一人ひとりに問いかけ続けてきました。誰にでも与えられたタラント(賜物・資質・天分)を遺憾なく発揮し、失敗を恐れず、前向きに歩むよう常に呼びかけています。自分の可能性を信じ、お互いに支え合い、励まし合える教育共同体でありたいと願っています。今、社会は目まぐるしく移り変わっています。その変化を敏感に捉え、的確、迅速に対応する判断と勇気が必要です。急速に進むグローバル化、AIの進化、少子高齢社会等々、変革する社会に対応するために、日本の学校教育の改革が求められています。本校でもキャリア教育、グローバル教育、ICT教育など、より良い学習環境を構築するための具体的、魅力的なプログラムを手掛け、実践しています。与えられたミッション(使命・天命)を自覚しつつ、自分を愛するように、隣人を愛してほしいと願っています。



■ 校長メッセージ

校長 天野 海走

中学高校時代は、自分の人生の土台をつくる大切な時期です。生徒の本分である学習活動はもちろん、学校行事や部活動など、中高生時代にしかできない経験を通して豊かに成長してほしいと願っています。本校の教育プログラムを通して、生徒たち一人ひとりが夢中になれるものを、必ず探し当てることができると思っています。

何よりも、「敬神・愛人」の建学の精神のもと、生徒たちが人を大切にできる優しく、たくましい人に成長してくれることが私たちの一番の願いです。また、横須賀学院は創立当初から、平和と民主主義の社会を担う、世界に開かれた市民を育成することを大切にしてきました。教育目標である「共に生きる」心を養い、人類に仕え、世界に貢献する人物を育成することが私たちの使命です。



経験を 力に

一人ひとりの
未来につながる
横須賀学院での学び



進学先
青山学院大学
総合文化政策学部
総合文化政策学科
井邊桜音さん



進学先
杏林大学医学部
医学科
木下和明さん



進学先
慶應義塾大学
環境情報学部
環境情報学科
服部瑛斗さん

先生がサポートしてくださり、 被災地でボランティアをすることができました

生徒の「やりたい!」が尊重され、先生が全面的にサポートしてくれる学校です。私が、「キリスト教青年会の一員として東日本大震災の被災地を訪れ、その経験を礼拝で話したい」と希望した時も先生が背中を押してくださいました。自分から動き出すことができる環境が整っているため、皆さんもいろいろなことに挑戦してください。

聖書を通じて人間教育を学びました 医師になり、隣人愛の精神を実践したいです

「聖書」の授業を通して、隣人愛や奉仕の精神などを学びました。中でも「後ろのものを忘れ、前のものに全身を向ける」という聖書の言葉は私の座右の銘になっています。子どもの頃からの夢だった医師に本気で挑戦しようと思ったのは、この学校で人間教育を学んだからこそ。神様の言葉を胸に、多くの患者さんを助けられる医師になりたいです。

学生生活で、責任感のある自分を発見 一級建築士として社会貢献したいです

サッカー部部長、生徒会、学級委員として活動させていただく中で、「何かを責任を持って最後までやり遂げる」という自分の強みを見つけました。他者のために何かをする際に力を発揮できることも実感。将来は一級建築士として医療福祉施設の設計に携わり、療養空間の質を向上させることで、疾患と闘う人々を支援することで社会貢献したいです。



高校2年 荒井心温さん



高校3年 梅野航宇さん



中学2年 田口聖奈さん



中学3年 秋山輝琉さん

進路相談で先生が親身になってくれました 指定校推薦での合格を目指しています

文系と理系の選択で迷っていた時、先生がじっくり話を聞いてくださったので、自分のやりたいことはなにかを真剣に考えることができました。私は古文や日本の伝統文化に関心があるので、大学ではそれについての学びを深め、将来は好きなことを活かして人のためになる仕事に就きたいと思っています。今は指定校推薦の合格に向けて頑張っています。

メリハリのあるクラスの雰囲気が好きです 学校行事では団結力を発揮します

休み時間は友だちとの楽しい会話で盛り上がりますが、授業中は真剣な態度で質問したり、グループワークに取り組んだりするメリハリのあるクラスです。分からない問題を教え合うのもクラスの魅力の一つ。学校行事ではそれぞれが自分の役割を見つけ、積極的に貢献する姿勢が光ります。少人数だからこそ団結力も強く、思い出に残る行事が多いです。

合唱コンクールで一致団結 心に残る合唱をすることができました

印象に残っているのは合唱コンクールです。私は実行委員としてクラスで歌う曲を決めたり、練習のまとめ役を任せられました。練習がはじまると、自然に集まってくれるような良い雰囲気のクラスで、本番では心一つに満足のいく合唱をすることができました。クラスの団結力も高まり、学校生活のさまざまな場面でもまとまるようになりました。

勉強法を見つけて成績がアップ 自分のペースで頑張っていきたいです

入学してすぐの頃は勉強法がよく分かっておらず、英語の成績が上がらないなど苦戦しました。そこで、先生に単語テストを大切にすることや授業の受け方などをしっかり教えていただき、実践すると成績がアップ。今では自分なりのやり方を見つけ、部活動との両立もできています。これからも努力を続け、どの科目もバランスよく学んでいきたいです。

Christian Education

キリスト教教育

自分に与えられた賜物を磨き、
自分を愛するように他者を愛する隣人愛の心を育てる

横須賀学院は、一人ひとりが神様から愛されているかけがえのない存在であるというキリスト教の人間観に立って教育を行っています。その中で、互いを大切にし合い、他者に奉仕する生き方を日々の礼拝やキリスト教行事を通して学びます。



自らの人生の幅を広げる隣人愛の実践

キリスト教教育の4つの柱

横須賀学院の一日は、讃美歌を歌い、聖書の教えに耳を傾け、祈りを捧げる礼拝からはじまります。毎日の礼拝だけでなく、年間を通じて聖書の授業を行い、キリスト教について学びます。多くのキリスト教行事に参加する中で、自分自身について、また人間関係について深く考えます。



Christian Education 01 礼拝

毎朝礼拝を行い、讃美と祈りをもって一日をはじめます。生徒が司会・お話を担当する「生徒礼拝」、毎月一度その月の誕生者を祝う「誕生礼拝」も行われています。



Christian Education 03 聖書の授業

6年間を通じて週に1回、聖書の授業を行っています。聖書やキリスト教の基礎的な知識を学ぶとともに、聖書の世界にふれ、「自分で考える」ことを大切にしています。



Christian Education 02 宗教行事

誕生礼拝、花の日礼拝、収穫感謝礼拝、クリスマス特別礼拝などの礼拝行事のほか、クリスマスページェントなど、さまざまな宗教行事を神様におさげしています。



Christian Education 04 奉仕

学校生活の中で、キリスト教精神を具体的にあらわす活動として、チャペル委員、キリスト教青年会、聖歌隊、ハンドベル・クワイアがあります。学内外のさまざまな場面で、自らを活かす奉仕活動を、喜びをもって行っています。

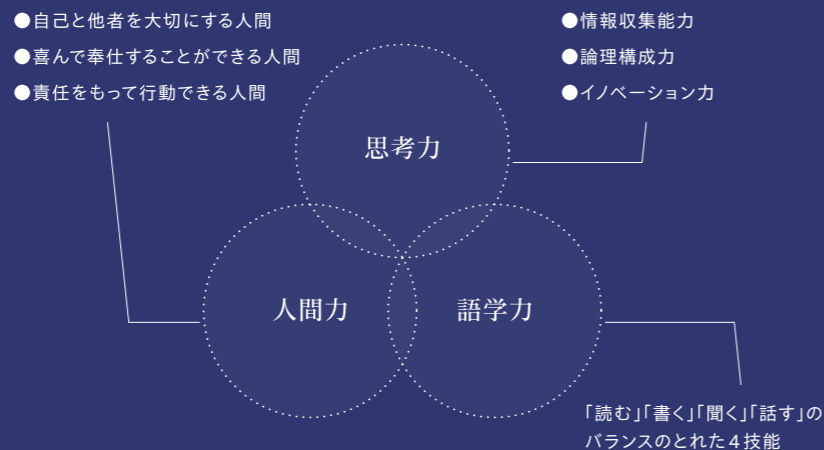
Global Education 02

グローバル教育

キリスト教を土台としたグローバル教育で
世界の隣人と共に生きる力を育てる

グローバル人材に 求められる力

これからのグローバル社会を生きていくためには、語学力やコミュニケーション能力以外にも責任感や協調性、チャレンジ精神や異文化理解などさまざまな能力が求められます。横須賀学院ではキリスト教を土台としたグローバル教育を積極的に展開し、これらのスキルの習得を目指します。



実社会で求められる実践的な英語 英語4技能の向上

英語を習得するためには集中的に学習することも効果的ですが、継続的に英語にふれることも重要です。本校では中1から英語の授業とは別に、英会話の時間が週1時間設けられています。英会話の授業はネイティブ教員1名と日本人教員1名によるチーム・ティーチングの体制を整えており、オンライン英会話も導入しています。そのため、一人ひとりの英語を話す時間が増え、今まで以上に積極的にコミュニケーションをとろうとする生徒が増えています。

Global Education 01 フォニックス授業

ネイティブの子供たちが初等教育で導入しているものと同様に、中1の英語の時間にアルファベットを組み合わせた時の発音の仕方を理論的・継続的に学びます。初めて見た単語でも、正しい発音が自然にできるようになることを目的としています。

Global Education 02 オンライン英会話

1人1台のiPadを利用し、全学年とも週に1回(年間で20回以上)のオンライン英会話の授業を行っています。ネイティブの先生との1対1の会話に最初は少し緊張気味の生徒もいますが、すぐに笑顔になって楽しく取り組めるようになっています。本校のネイティブ教員と日本人の英語科教員2名で、その時間をサポートしています。

Global Education 03 検定試験へのチャレンジ

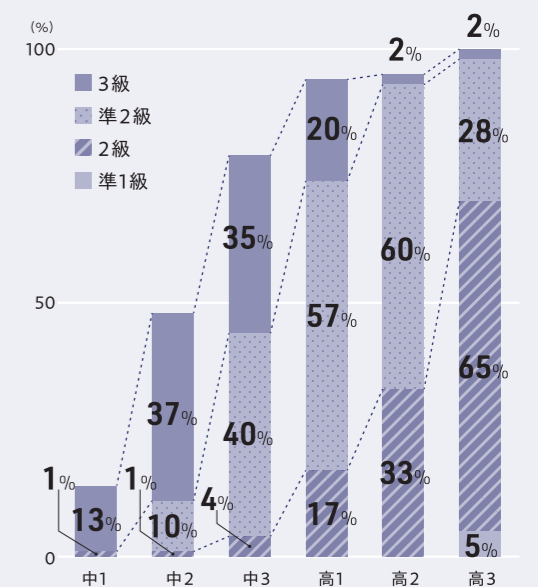
日常の学習がどのくらい身についているかを確認するために、英検の受験を奨励しています。学年目標を早々にクリアし、中2中3での英検準2級、2級の合格者も増えてきました。

Global Education 04 国際交流プログラム(中3~高2希望者)

同世代の高校生との交流プログラムです。毎年来校するマイアミハイスクールの生徒たちとは、授業のパディをしたり、書道や日本語のゲームなどを楽しんだりして交流を深めています。また、青山学院大学国際交流プログラムや、エンパワーメントプログラムに参加し、ディスカッションをしたり、プレゼンテーションスキルを磨く機会もあります。

英検取得率

取得目標を設けることで、
自主的な学習習慣が根付く



英検受験については、各学年の目標として中1で5級、中2で4級、中3で3級の取得を目指します。学年目標を早々にクリアし、中2・中3で準2級や2級に合格する生徒も増えていきます。

|| 選べる国内外の語学研修

グローバル教育プログラム

海外の文化や価値観の違いを理解し、グローバルに物事を考える力を身につける。



Global Program 01

キリスト教を土台としたグローバル教育

横須賀学院ではキリスト教を土台とした真のグローバル教育を実践しています。中学校からの6年一貫教育を通して『世界の隣人と共に生きる』ためには何が必要かを知り、自分に与えられている賜物(タラント)を磨き育て、それを他者のために活かすことを喜びとすることができる人材を大切に育てていきます。



Global Program 02

世界を知る・学ぶための英語力

横須賀学院のグローバル教育は英語力の取得だけを目的とするものではありません。英語を使いこなすことはもちろん大切なことですが、語学はあくまでもツールに過ぎません。大切なことは、私たちが暮らすこの世界には平和・人権・環境など困難な問題が山積していることを知り、答えが簡単に見つからない、解決困難な課題に対していかにアプローチをし、その解決のために私たちは何をなすべきかを考えることです。



Global Program 03

地球市民としての視野を育む

これからの社会はグローバル化・情報化がますます加速すると同時にAI化の波がこれまでの常識を大きく変えていくことは間違いありません。こうした社会を生きていくためには、「地球市民」として地球規模の視野で正しく物事を判断する必要があります。横須賀学院のグローバル教育はSDGsをはじめとする地球規模の問題に対しても真剣に取り組んでいます。



Global Program 04

豊富なグローバル教育プログラム

中学校に入学してまだ2ヶ月も経たない5月下旬、中1は全員 Spring English Days に参加します。イギリス・カナダ・アメリカ・オーストラリアなど様々な国籍の先生方から体験型の授業を受けることで実践的な英語を学びます。中3・高1の3学期を利用してニュージーランドの現地校に留学することもできます。思春期の多感な時期に親元を離れて異文化体験をすることは参加した本人にとって人間力を育む大きな一歩となります。英語力の向上だけでなく、さまざまな人との出会いを通して、社会的になった生徒も多くいます。



グローバル教育プログラム ※いずれも希望制のプログラムです



各2日間

サマー・ウィンターイングリッシュデイズ

学内に実施する、スプリング・イングリッシュデイズの発展編プログラムです。場面に合ったダイアログ練習やスキット活動などを行います。中3夏の海外ホームステイや他の海外プログラムに参加を希望する人々には、特に積極的な参加を促しています。



5日間

インターナショナルスクールでのボランティア

葉山インターナショナルスクールで行われるサマースクールに参加する子どもたちと、ネイティブ講師との間に入り、アクティブな活動をサポートします。子どもが好きで、ある程度の英語力がある生徒に最適です。



2週間

セブ・インテンシブ・イングリッシュ・キャンプ

春休みを利用したフィリピンのセブ島での語学研修です。ZA English Academyの寮に宿泊して、1日50分×9コマに及ぶ英語のレッスンを受講します。



中3 15泊16日間

ニュージーランドホームステイ

昼は現地の学校に通ってパディと一緒に授業を受けます。教室で学んだ英語を実際に使い、コミュニケーションがとれたという成功体験を通して、英語学習へのモチベーションの向上や、グローバル社会への関心を深める絶好の機会になります。



中3・高1 7泊8日間

ニュージーランドターム留学

中3と高1が対象で、1月中旬から3月末までニュージーランドでホームステイをし、現地の学校へ通います。長期間異文化の中で生活する経験を通して、英語力の向上はもちろん価値観の尊重や相互理解の大切さなどを体験的に学習します。



高1・高2

交換留学プログラム

高1の冬出発(主にオセアニア方面)と高2の夏出発(主に北米方面)がある1年間の交換留学プログラムに参加することができます。試験と面接がありますので中1から説明会を実施し、準備を促します。

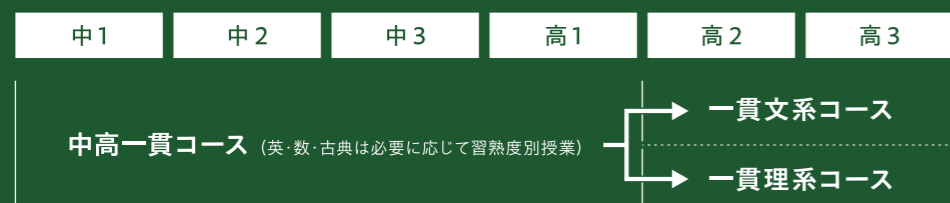
Learning Process

一人ひとりの目的・目標に寄りそう学習指導

6年一貫の丁寧・豊富・継続的な学びを通して自分の将来の可能性を広げる

中高一貫生は、6年間を見据え、検定外教科書なども用いて授業を行っています。また、必要に応じて習熟度別授業を展開し、きめ細かく学習指導をしています。そのために高校からの入学生とは別クラスで学んでいます。学力は、授業で学んだことを、多くの問題演習を通して自学自習する習慣をつけることで身につきます。中高一貫コースでは放課後の学習サポートや土曜日の講座を充実させて家庭学習を促します。

6年間のクラス編成



さまざまな個性を持つ仲間たちと、共に過ごす6年間。互いを尊重し高め合いつつ、共に育つ6年間でもあります。高校2年次から文系・理系に分かれたカリキュラム選択をしますが、ホームルームは共通です。



Learning Process 01 まずは学習習慣の確立から

中1 中2

確かな学力をつけるためには、学習に向かう習慣作りが大切です。入学式後に、学習に関するガイダンスを行い、学院手帳を使って1日の生活を記録し、授業の予習・復習など家庭学習に取り組む時間をしっかりと定着させます。特に定期試験前には学習計画表を作成し、各担任がアドバイスをしながら、自ら学習を進める習慣をつけるよう指導しています。



Learning Process 02 キャリア教育を通じて将来を意識

中3 高1

中3で行われる職業体験プログラムやその準備活動などを通して、自分の将来を強く意識させています。また高1で行われるリベラルアーツプログラムでは大学の学びを体験し、自分の進むべき方向をより具体的に考え、現時点での自らの課題にも向き合うことになります。結果として、学習に対する意識も大きく変化していきます。



Learning Process 03 進路実現に向かって

高2 高3

校内や大学キャンパスで行われるさまざまな高大連携授業、進路講演会、卒業生による座談会など、進路を考えるイベントが多数開かれています。そして担任との面談を重ね、進むべき進路を確定させていきます。大学進学を目指した講習は、長期休暇を中心に多数開講されており、学習室やチューターズルームには、連日多くの生徒が訪れ、学習に真剣に向き合っています。

思考力・判断力・表現力を身につける

中高一貫コースでは、大学入試改革を念頭において、思考力や判断力、表現力などの本質的な学力を高め、知識や技能を活用できる課題解決力を育むことを目標にして、6年間の学びをサポートしています。

■ クリティカルシンキング

情報を多様な角度から検討し、論理的に理解する力を養うために、国語の授業で最新教材やiPadを活用した体系的な学習を行っています。また、それと同時に時事的なトピックスにも関心を持つ姿勢を養います。

■ アクティブラーニング

生徒たちが、仲間とともに考えを深めながら主体的に課題を解決する力を養う授業を目指しています。大学入試改革を見据えて、単に知識量を増やすことに留まらず、問題に取り組む意欲を育てていきます。

■ 対話的・協働的な学び

本校では、電子黒板やiPadを活用して生徒同士で意見を交換したり、自分たちの考えをまとめて発表するなど積極的にグループ学習を取り入れています。こうした対話的・協働的学習を通して、問題解決能力やコミュニケーション能力などの21世紀型スキルを身につけることを目指します。

学習状況に応じた豊富なサポート体制 学力の育成



Support Program 01 土曜特別講座

応用発展問題に取り組む上級講座

中学校では、全国の中高一貫生対象のベネッセ学力推移調査を受験しています。この模試の対策授業として、土曜日に年間30回の講座を開講しています。中2中3では、英数の2科目を実施しています。

■ オンラインによる講座受講が可能

土曜日には、部活動の練習や試合、習い事などが入り講習を受講できないこともあります。また、2021年度はコロナ感染症対応のために登校して受講することが難しい状況となりました。そのため現在はGoogle Classroomを使って授業を配信し、各自のスケジュールに合わせて学習できるかたちで実施しています。

Support Program 02 中学夏期講習・補習

午前中は指名制の補習、午後は応用発展問題を扱う講習

夏期講習は中1から高3まで毎年行われます。中学生については、午前中は普段の学習が遅れがちな生徒の指名制補習となります。午後は、難しい問題にチャレンジするさまざまな講習が組まれます。

Support Program 03 一貫特別講座

高1

進研総合学力テスト対策として、発展問題に取り組む講座

高1では、一貫特別講座を開講しています。ベネッセの進研総合学力テストで学習到達ゾーンA(難関私大レベル)、S(国公立・早慶上智レベル)評価を目指して応用発展問題に取り組めます。講座は英国数の3教科を平日の放課後に行います。

Support Program 04 大学入試対策

高2

高3

目標・目的に合わせて用意する予備校並みに充実した講座群

いよいよ大学入試に向けた勉強が本格化する高2から、予備校並みに充実した多彩な講座を長期休業中を中心に用意。今まで培ってきた独習力をベースに、実戦的な演習問題に数多く取り組むことで個々の学力を大学入試レベルにまで引き上げます。講座はいずれも希望選択制で無料。どの講座を受講するかは、志望大学や現在の学力レベルを踏まえながら選択することができます。



生徒一人ひとりの課題に向き合う手厚い指導

中学校では、学習室での支援や放課後の補習など、生徒一人ひとりの学習状況に応じて通常授業以外でも手厚い指導を行い、高校での学習の前提となる土台作りを行っています。

A.L.T アドバンスラーニングタイム

- ☑ 学習内容を定着させる徹底した反復演習
- ☑ 学習室専属の管理担当者がフォロー

A.L.T.は学習塾でも使用されている「eトレ」と呼ばれる学習システムを利用して、スモールステップの単元別演習に取り組む自律学習の時間です。A.L.T.の最大の利点は、夜19時の下校時刻まで開放している学習室を利用して行うこと。クラブ活動が終わった後でも間に合います。また、学習室には専属の管理担当者が常駐していますので、学習の進捗状況を管理してもらいながら、わからない課題は質問することができます。

B.L.T ベーシックラーニングタイム

- ☑ 授業担当教員が指導
- ☑ 理解不足や疑問点の解決を早急にケア

B.L.T.は英数国で毎週放課後に組んでいる補習時間です。小テストで合格点を取れなかった、課題の仕上がり十分でない、成績がふるわないなどの理由で、授業の中で指名を受けた生徒は参加しなければならないいきまりとしています。この補習によって、理解不足や疑問点の解決を引き延ばさないようにしています。

1人1台のiPadを活用して 主体性・協働性・創造性を身につける

ICT教育

中学高校全クラスにプロジェクター式電子黒板を設置。Wi-Fi環境も整い、1人1台のiPadを活用した教育活動も大きく進んでいます。新型コロナウイルス感染症対策で休校が続いた時も、授業動画の配信やリモートでの質問タイム、各クラスの礼拝やホームルームにと、学校と家庭をつなぎ、学習活動を継続していくための心強いツールとなりました。反転学習や家庭学習、プレゼン、グループ活動など、学内外での学びの環境がさらに充実したものとなっています。



Point 01 協働学習・反転学習の充実

本校ではiPadを有効活用し、生徒が主体的に知識を習得する「反転学習」を推奨しています。教室では講義の代わりに自ら学んだ知識を確認し、協働学習を通して問題解決力を養うなど、学んだ知識を「使うことで学ぶ」活動を実践しています。

Point 04 情報や体験の蓄積

本校では中高全教室に液晶型プロジェクター・Apple TVが設置され、Wi-Fi環境も整備されているため、学校内のどこにいてもiPadを利用してインターネットが利用でき、調べ学習が可能です。

Point 02 プレゼンテーション力UP

プレゼンテーションを行う際に最も大切なことは、伝えたいことを論理的に分かりやすく説明する力です。その能力を養うため、本校では国語の授業で「クリティカルシンキング」を導入し、物事を整理し順序立てて考えるスキルを身につけます。

Point 05 保護者への迅速な連絡

学校と家庭との連絡をスムーズにするため、学校からの連絡や欠席連絡はJMOBILE(モバイルメール)を活用しています。また学年・クラス・授業・部活動などでGoogle Classroomを作成し、教員・生徒双方方向での情報共有を迅速に行っています。

Point 03 自学自習(朝学習・家庭学習)の充実

Google Classroomやロイノートを使って教科担当が準備した教材や資料、宿題を生徒のiPadに配信し、生徒は家庭でそれらの課題に取り組み、提出します。こうして教員・生徒双方方向のスピーディーな授業が展開されていきます。

活用例 01

iPad × 理科



キャンパス内でフィールドワークを実施

中1理科(生物)の授業では、キャンパス内でフィールドワークを行いながらiPadで植物を撮影。その後、各自が撮影した植物の写真をグループのメンバーで種類別に分け、観察記録を作成し発表を行います。

活用例 02

iPad × 体育

正しい体の動きをみんなで共有

中1保健体育のマット運動の授業では、4~5人のグループがメンバー一人ひとりの動きを本人のiPadで撮影します。その後、一人ひとりの動画をみんなで視聴しながら良い点や改善した方がよい点を確認します。





さまざまな場面で生徒を支える [図書館 × 司書教諭]

図書館とのコラボプログラム

授業はもちろん、行事の準備、レポート作成や入試小論文対策など、さまざまな場面で司書教諭が指導に加わっています。そのため、日常の中に司書教諭がいることが当たり前になっており、生徒たちは、進路や勉強、人間関係など何か困りごとがあったら、図書館で解決のヒントを探ろうと考えるほど、図書館が非常に身近な存在になっています。



Collaboration Program 01 Newspaper In Education

新聞記事を通しての学び

社会との接点になる身近な情報源として、新聞をさまざまに活用していく取り組みを進めています。新聞の閲覧やスクラップができる新聞コーナーは、中学棟と高校棟図書館に設置。プレゼンテーションやレポートの資料としても、積極的な活用を推奨しています。

Collaboration Program 02 入試小論文対策

新書に出会い、意見をもつ

中3から小論文対策として新書を読みはじめます。図書館では希望進路別のオススメ本コーナーを設置したり、何に興味があるのか、生徒の思いを直接聞きながら、本を紹介したりしています。生徒は新書で得た知識や考えをまとめ、論理的に自分の考えを示す経験を積んでいます。

Collaboration Program 03 ビブリオバトル

本を通じたコミュニケーション

「読んでみたい」と思わせる本の紹介を競う活気あふれるバトル。予選では、グループ内でオススメの本を3分間で紹介しながらチャンプ本を決めます。決勝プレゼンでクラスチャンプ本に選ばれた本の紹介者は、大チャペルの一面に大きく映し出された本の表紙のもと、全校生徒の前での発表も行います。

Collaboration Program 04 英語の多読

無理なく続けられる

図書館には約3,000冊の洋書があり、すべて学院独自のレベル分けをしています。そのため、生徒は自分のレベルに合った本を選んで多読を進めることができます。また、高校生が作成したオススメ洋書のPOPが掲示されていて、自分にあった洋書を探しやすいように工夫しています。

◆ 司書教諭からのメッセージ

読書以外の使い方も大歓迎！ みなさんと共に成長する 図書館を目指しています

みなさんは、図書館でどんなことがやりたいですか？ 本校の図書館は読書をするだけの場所ではなく、進路の情報を集めたり、文化祭の準備をしたり、さまざまな使いかたができるよう工夫しています。みなさんの「やりたい」に応えられるよう、図書館は日々成長を続けていますので、「こんなこと図書館ではできないよね…」と諦めるのではなく、「図書館ならできるかも！」と希望をもって、たくさんの「やりたい」を叶えに来てください。



個々の力を合わせ、
人・自然・世界と「共に生きる」を実現する。

体験型プログラム



中高一貫校の強みを生かし、宿泊を伴う自然教室をはじめとする多くの体験型プログラムを実施することで、生徒たちは本校の教育目標である「共に生きる」体験を積み重ねます。これらの行事を通して生徒たちは集団生活の楽しさや難しさを経験しながら、あるべき人間関係や社会性を学び、豊かな人間性や協調性、自ら考える力などを育てていきます。

小網代の森自然教室(中1)

自然が持つ価値を学び、“共に生きる”ことを実感する

自然と「共に生きる」意味を学び実践するために、NPO法人小網代野外活動調整会議のボランティアの方々を招き学習しています。実際に三浦半島に残る素晴らしい自然環境の小網代の森を散策し、自然が持つ価値や自然と共生する豊かな環境の創造を学んでいます。



清里自然教室(中2)

自然・自分・他者と向き合い、関わりについて考える

八ヶ岳南麓に広がる清里の豊かな自然の中で命の尊さを学ぶさまざまな体験をします。自然歩道を散策して多くの動植物を観察し、酪農体験や農業体験を通して食べ物がつくられる過程を学ぶと同時に、自分自身を見つめ、他者との関わりについて考える時間をもちます。



沖縄自然教室(中3)

沖縄の戦争体験を学び、平和について深く考える

世界の隣人と「共に生きる」ことを考えた時、戦争と平和の問題は避けて通ることができません。日本で唯一、凄惨な地上戦が繰り広げられた沖縄。ひめゆり部隊についてなどの事前学習を行い、実際に沖縄の戦跡を巡ります。海洋学習や文化体験もあり、沖縄を満喫できるプログラムです。



海外での体験学習(高2)

宿泊体験学習行事の集大成。世界の仲間と「共に生きる」

中1から積み上げてきた「共に生きる」。その集大成として、高2ではハワイを訪れ、現地の学校を訪問して国際文化交流プログラムを行います。同世代の学生たちと直接交流することで彼らが何を考え、何を目標としているかを知り、それが自分自身を見つめ直すよい機会となります。また太平洋戦争の戦跡を訪れ、戦争の悲惨さと平和の尊さについても学びます。



Career Education

キャリア教育

経験を力に、

一人ひとりが自分の進むべき方向を見つけ、

社会と自分の未来について考える

自ら進むべき方向を考える充実した機会

横須賀学院では「何のために学ぶのか」を探求するキャリア教育プログラムを提供しています。中3の「職業体験プログラム」では、働くことの意味を考え、さまざまな職業について調べ学習を行い、職場体験を行います。高1では、年間10回の土曜講座「リベラルアーツプログラム」を受講することで大学の学びについての理解を深めています。



Career Education 01

視野を広げ、進路を明確にする

科学教育センター

横須賀学院科学教育センターは、小中高すべての児童・生徒へ教養教育の機会を提供します。知的探究の豊かさや深まりをすべての人へ。課外のレクチャー、ワークショップ、スタディツアー等を通じて生涯にわたって学び続ける人を育てます。



学院セミナー

横須賀学院セミナーとは課外に実施される教養教育のためのプログラムの総称で、放課後や長期休業期間を利用して年間100以上の講座が開講されています。外部から大学の先生や研究者を招いて発展的な学びを展開する講座もあれば、横須賀学院の教員が専門性を活かして実施する講座など、さまざまな講座をラインナップしています。



高大連携授業

6年一貫教育の後半では、大学での講義を見据えて高度な学びの場を設けています。例えば高校理科の授業では外部講師をむかえてDNAや遺伝子の実験を行うなど、高校単独では実施が難しい講義や実習にふれることができます。

▼ 学院セミナーの一例

抗酸化作用を調べよう!

横浜薬科大学薬学部 出雲信夫先生、古川恵先生

水族館で問題になる魚の病気について

日本大学生物資源科学部 間野伸宏先生

SDGs時代の教育とユネスコスクール

玉川大学教育学部 小林亮先生

かめはめ波を科学する

東京都市大学工学部 岩尾徹先生

身近な話題から心理学を体験しよう

和洋女子大学人文学部 高梨一彦先生

こんな時どうする?〜ケーススタディで学ぶ看護倫理

神奈川県立保健福祉大学 水戸優子先生

支えることを仕事にする

東京大学大学院総合文化研究科 杉本光衣先生



放課後セミナー

研究機関や医療機関等で働く方を学校にお迎えし、放課後に出張講義を聴講できるプログラムです。内容は医学・生命科学・天文学などの理系分野や、哲学・経済学・芸術などの文系分野などそのテーマは多岐にわたります。はじめて探究活動にふれる生徒を意識しながら内容はとてもアカデミックなセミナーです。

教育連携協定を結んでいる大学

■ 横浜薬科大学

■ 東洋英和女学院大学

■ 神奈川歯科大学

■ 恵泉女学園大学

■ 神奈川大学

■ 関東学院大学

自律的・主体的な学びの姿勢を養う

リベラルアーツプログラム(高1)

高1を対象に行う全13回の講座で、土曜の午後や長期休暇などに開講しています。この講座の目的は、自分が大学でどのような分野に取り組みたいのかを探る第一歩を踏み出してもらうことです。



STEP 01

資料調べの方法を学ぶ

図書館の司書教諭から資料調べの方法などのレクチャーを受ける



STEP 02

学びを深める

専門分野の講師による講義で、時事問題や学問分野についての学びを深める



STEP 03

レポート・小論文作成

自分の興味のある学問分野の研究についてレポートを作成する



STEP 04

プレゼンテーション

レポートをもとにプレゼン試験を行い、自ら考え、発表する力を身につける



GOAL

授業と研究の違いを体感することで、本当に学びたい学問領域を探る

さまざまな職業に触れ、将来の自分について考える

職業体験プログラム(中3)

一貫教育の真ん中に当たる中3では、学年と国語科、図書館の連携プログラムを通して、職業について考えます。国語科では、1学期のプレゼンテーション試験で「将来の夢」というテーマを設定し、1分間のスピーチを行います。その後、司書教諭と連携し、職業調べ活動を行います。図書館では、職業別に仕事に関する本を用意しており、レポートを作成します。このレポートの内容は、2学期のプレゼンテーション試験のテーマとなります。年末には、ロータリークラブの方から働くことの意義について講演をしていただき、3学期には、30数社の協力を得て、1社2~3人という恵まれた環境で2日間の職場体験を行います。この1年間のプログラムを通して、生徒たちは将来の自分について考えはじめます。

職業体験プログラムで体験可能な業種

- 金融業、保険業（証券・銀行・信金・保険等）
- 製造業（自動車部品製造・造船等）
- 医療、福祉（病院・保育園・介護福祉施設等）
- 教育、学習支援業（幼稚園等）
- 卸売業、小売業（百貨店・書籍・衣料・石油等）
- 情報通信業（放送）
- 運輸業（旅客輸送）
- 宿泊業、飲食店（飲食・ホテル等）
- 公務（消防署）

その他

大学レベルの教養を扱う進路決定者を対象とした講座

教養講座(高3)

推薦入試や総合型選抜で既に進路が決まっている高3を対象に行う特別講座です。文化・歴史、社会・経済・法学、自然科学、語学・国際、スポーツ・健康などにジャンル分けされた講座を、自由に選択して受講することができます。担当の教員が大学や大学院で行ってきた研究の延長線に行う講座が多く、大学レベルの教養教育を受けることができます。「現代医療と聖書」「自分に活かす心理学」などユニークな講座がそろっています。



充実した教育連携で進路選択の可能性を広げる 青山学院との連携

横須賀学院と青山学院は、同じくキリスト教を土台とした教育理念を持つ学びの場として教育提携を深めてきました。毎年行われる高大連携授業には横須賀学院から多数の生徒が参加し、それぞれの進路選択について考える大切な機会となっています。また、青山学院大学への推薦入学は中高一貫生が優先的にエントリーできることもあって、中学からの入学生にとって魅力的な進学制度となっています。



University Connections

青山学院大学・全学部の講義を受講
希望進路と学部学科のミスマッチを防ぐ

高大連携授業(高1~高3)

中高一貫クラスでは、青山学院高等部や青山学院横浜英和高校の生徒と同様に、青山学院大学の講義動画を視聴し、レポート提出を課しています。講義動画は全11学部の31講座が準備され、教授、准教授の先生方が、各学科で実際に研究している内容を高校生向けにわかりやすく解説してくれています。

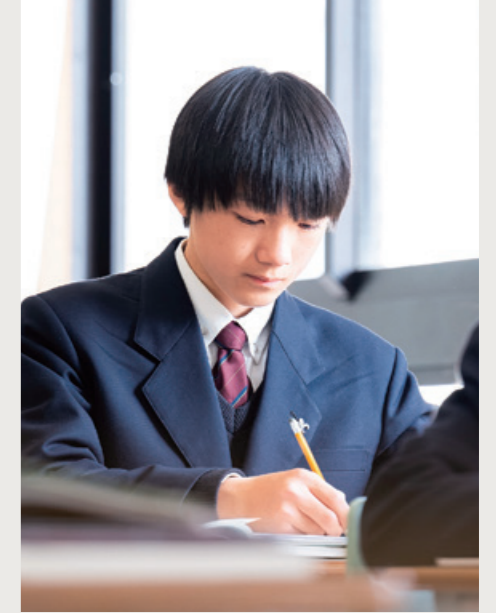


青山学院大学学問入門講座

- 経営学部 マーケティング学科「その飲み物、本当においしいですか?~マーケティングから考えるおいしさの秘密~」
- 法学部「結婚は異性とじゃなきゃダメ?」
- 国際政治経済学部 国際経済学科「グローバル化と現代世界の歴史」
- 総合文化政策学部「サイテーションとは何か(アカデミック・ライティング入門)」
- 文学部 英米文学科「現代英国ファッションの魅力」
- 教育人間科学部 心理学科「(臨床の知)とは何だろう」
- 理工学部 物理・数学科「重力波天文学の幕開け」
- 理工学部 経営システム工学科「ゲーム理論入門」
- 社会情報学部「簡単な数学を使って、複雑な金融商品の価格を求めてみよう」
- 地球社会共生学部「出版社と日本近代社会: 講談社と岩波書店はいかに日本を代表する出版社となったのか?」
- コミュニティ人間科学部「なぜ『フェミニズムはみんなのもの』なのか考える」
- コミュニティ人間科学部「『スポーツ×地域活性化』の未来へスポーツとまちづくりのいい関係~」

中高6年間の一貫した手厚いサポート 学習指導・進路指導プログラム

横須賀学院の中高一貫コースでは、大学入学共通テストなどの入試改革や社会の変化をふまえて、思考力や判断力、表現力などの本質的な学力を高めて知識や技能を活用できる課題解決力を育みます。また、6年間の教科学習によって、進路希望を叶えるための実力をつけられるよう、さまざまなプログラムを通して生徒一人ひとりを手厚くサポートしています。



主な PROGRAM

中1~中3

↓

高1

↓

高2

↓

高3

学力推移調査(全国の私立中一貫生が受験)を実施し、「学力到達ゾーン」で大学の合格可能性を確認しながら、高校卒業後の進路を見据えて日々の学習に取り組みます。

スタディサポートを活用して、二者・三者面談を実施し、一人ひとりに向き合いながら、生活・学習両面について、丁寧に指導していきます。そのうえで、文系・理系のコース選択を、自分のやりたいことや適性を考えながら決定していきます。

【進路ガイダンス】 ●年間指導計画と3年間の見通し ●学習・生活の基本

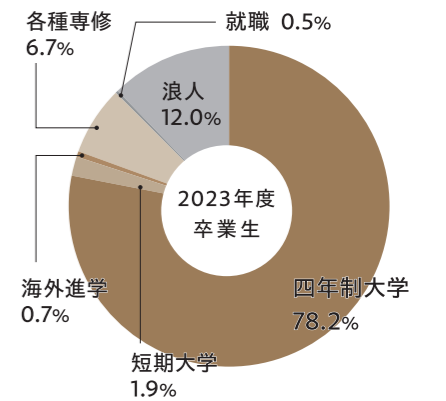
文系・理系コースに分かれ、進路ガイダンスやオープンキャンパス参加などを通じて、自分の将来をイメージしながら、目標とする進学先を検討します。同時に、受験科目を意識して実力を養成し、受験に向けての学習態勢を整えます。

【進路ガイダンス】 ●大学入試の仕組み ●受験に向けての組み立て

受験までの綿密な学習計画を立て、受験科目の実力を合格可能なレベルまで高めます。志望校を決定し、自分に合った入試に向けてのプランを、三者面談を通して確定していきます。入試方法が決定したら、万全の態勢で受験に臨めるようサポートしていきます。

【進路ガイダンス】 ●推薦・一般受験 ●共通テスト利用

卒業生の進路状況



2024年度大学入試 合格実績一覧

国公立大学			
東京工業大学	1名	横浜国立大学	2名
東京外国語大学	2名	秋田県立大学	1名
東京学芸大学	1名	神奈川県立保健福祉大学	3名
東京海洋大学	2名	川崎市立看護大学	1名
埼玉大学	1名	東京都立大学	5名
千葉大学	2名	横浜市立大学	1名
私立大学			
早稲田大学	12名	津田塾大学	3名
慶應義塾大学	5名	東京女子大学	4名
上智大学	5名	日本女子大学	8名
東京理科大学	6名	昭和女子大学	9名
明治大学	30名	東洋英和女学院大学	2名
青山学院大学	39名	東京薬科大学	2名
立教大学	16名	昭和薬科大学	1名
中央大学	19名	東京都市大学	27名
法政大学	32名	芝浦工業大学	5名
学習院大学	7名	東京電機大学	13名
成蹊大学	17名	東京農業大学	6名
成城大学	10名	北里大学	15名
明治学院大学	36名	玉川大学	9名
日本大学	66名	武蔵大学	3名
専修大学	43名	帝京大学	14名
東洋大学	29名	神奈川大学	74名
駒澤大学	30名	東海大学	54名
関西学院大学	4名	関東学院大学	74名
同志社大学	4名	桜美林大学	26名
立命館大学	2名	他多数	

青山学院大学への推薦入学制度 推薦入学枠35名

2009年に調印された教育提携に基づき、横須賀学院高校から青山学院大学への推薦入学枠が設定されています。この制度は、キリスト教教育を6年間受けた中高一貫生を優先して適用していきます。

学部別推薦入学枠(2024年度大学入試)

青山学院大学(計35名)		指定校・提携校推薦23名 キリスト教学校同盟校推薦12名	
経済学部	2名	文学部	5名
経営学部	4名	教育人間科学部	2名
国際政治経済学部	2名	社会情報学部	2名
法学部	2名	理工学部	4名
総合文化政策学部	2名	地球社会共生学部	4名
コミュニティ人間科学部	6名		

推薦条件

青山学院大学への推薦条件には、青山学院大学側が提示する推薦基準と横須賀学院高等学校側の内部推薦条件の2種類があります。大学が提示する推薦基準の主なものとして、高校在学中の評定平均値が5段階中おおよそ4.0以上という基準があります。横須賀学院側の条件には、「学校の成績と同程度に模試の成績も重視する」「卒業時までに英検2級以上取得」「高大連携教育への参加」などがあります。





横須賀学院中学校の1日

SCHOOL LIFE

登校時間は8時20分。朝の礼拝から一日がはじまります。授業は午前3時間、午後3時間で、中3は週に2回、7時間授業があります。部活動の終了時間は、夏は17時30分、冬は17時になっていますが、学習室は完全下校時刻の19時まで開放しているため、部活動終了後に自主学習に励む生徒が多く見られます。

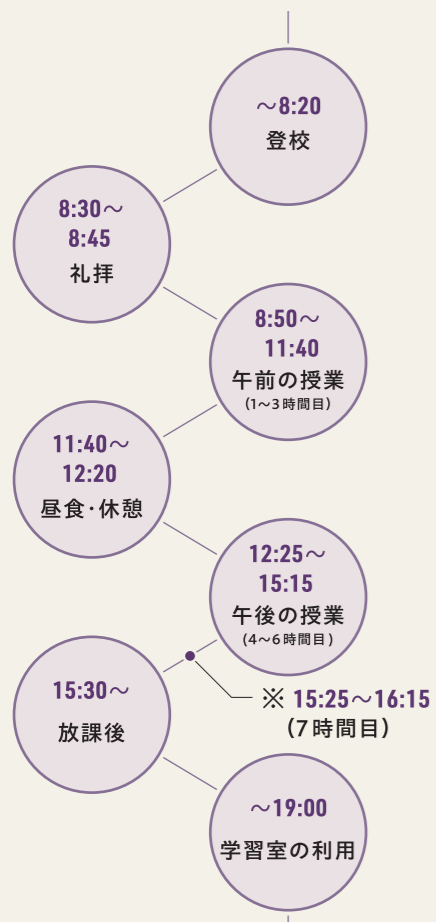


互いに尊重し合い、支え合う学校行事

SCHOOL EVENTS

チームやクラスの団結力を強める体育祭や合唱コンクール。自分たちが楽しむだけでなく、来場者が楽しめるように工夫を凝らす文化祭。キリスト教学校ならではの荘厳なセレモニーなど、横須賀学院には数々の楽しい学校行事があります。みんなで励まし合い、支え合う経験からは、かけがえない絆と思い出が生まれ、学校生活に豊かな彩りを与えてくれます。

- 4月 新入生オリエンテーション (中1:入学式前) 全校縦割り遠足
- 5月 自然教室 (中2:清里3泊4日/中3:沖縄3泊4日) 総合学習週間 (中1:スプリング・イングリッシュデイズ、小網代の森、SDGs学習)
- 6月 キリスト教教育週間 花の日礼拝 体育祭
- 7月 夏期講習 サマー・イングリッシュデイズ (2日間)
- 8月 シドニーホームステイ (2週間) 夏期講習
- 9月 楠木祭 (文化祭)
- 10月 芸術鑑賞 (劇団四季)
- 11月 収穫感謝礼拝 合唱コンクール クリスマスツリー点灯式
- 12月 クリスマス特別礼拝 ページェント メサイア
- 1月 職業体験 裁判傍聴 (中3) ウィンター・イングリッシュデイズ (2日間)
- 2月 マラソン大会 (海の公園)





夢中になって取り組む部活動

CLUB ACTIVITIES

横須賀学院の部活動は、仲間や先輩・後輩と共に、豊かな人間関係を築きながら、技術や体力の向上、規範意識や社会性、自主性を高めることを目標に行っています。楽しさや喜び、ときには悔しさを他者と分かち合う中で、学校生活をより充実したものにしています。

運動部

- ソフトボール部(高)
- バドミントン部(中・高)
- バスケットボール部(中・高)
- ソフトテニス部(中・高)
- 柔道部(高)
- 陸上競技部(中・高)
- 器械体操部(高)
- 卓球部(高)
- バレーボール部(高)
- 剣道部(高)
- 空手道部(高)
- テニス部(高)
- 野球部(高)
- サッカー部(中・高)
- アメリカンフットボール部(高)
- チアダンス部(高)

委員会

- 学級委員会(中・高)
- 美化委員会(中・高)
- 風紀委員会(中・高)
- 図書委員会(中・高)
- チャペル委員会(中)
- 放送委員会(高)
- キリスト教青年会(中・高)
- 写真委員会(高)
- 聖歌隊(中・高)

文化部

- 家庭科部(中)
- ハンドベル・クワイア(中)
- 写真部(中)
- 美術部(中・高)
- 吹奏楽部(中・高)
- 理科学部(中・高)
- 将棋部(高)
- イングリッシュクラブ(中・高)
- 料理研究部(高)
- 茶道部(高)
- 書道部(高)
- 軽音楽部(高)
- ボランティア部(高)
- 華道部(高)
- 歴史研究部(高)



UNIFORM

その日の気分・季節に合わせて着こなし自由。女子は冬服・夏服ともにスラックスを選択できます。新しく導入されたポロシャツは男女ともに「デザインがオシャレ」「着心地もよく涼しくて快適」と生徒の評判も上々です。



冬服



夏服

ポロシャツ

学校生活を支える充実した環境

SCHOOL FACILITIES

キャンパスは記念艦「三笠」のある三笠公園に隣接しており、教室の窓からは間近に東京湾や房総半島を望むことができます。明るく開放的なキャンパスには小中高校舎のほか、3つのグラウンド、荘厳なチャペル、4階建ての体育館、カフェテリア等があり、充実した学校生活を送ることができます。



中学棟 (3号館)



中学校学習室



大チャペル



小チャペル



チャペル棟



高校棟 (1号館)



Aグラウンド



Bグラウンド



テニスコート



- 1 中高生専用のグラウンドです。陸上トラック、合計3面のテニスコートを併設します。
- 2 一貫コースの高校生も生活する、南棟・北棟からなる校舎です。
- 3 アリーナ、小学校体育館、柔道場、部室からなる体育館です。
- 4 2006年に完成した中学校の校舎です。教室10クラスと学習室があります。
- 5 2010年に完成した学院の中心部です。大小2つのチャペル、チャペル棟職員室などからなります。



図書館



進路指導室



高校学習室



高校チャーターズルーム



アリーナ



体育館

HISTORY

学校沿革

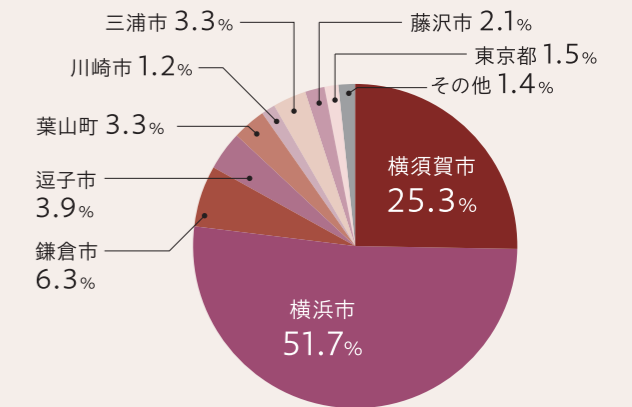
青山学院第二高等部を引き継ぎ、横須賀学院中学校・高等学校開校 初代理事長小崎道雄、初代院長・校長武部啓	1950	
	1953	旧木造体育館改修
松尾造酒蔵、第二代理事長に就任	1960	
	1961	小坂富城、第二代院長に就任
旧高校校舎増築及び旧第一校舎改装	1964	
	1965	クリスマス音楽会「メサイア」 横須賀市文化会館にて初めて一般公開
生徒食堂開設	1968	
	1969	旧体育館の増改築工事完了 小学校スクールバス購入
松尾理事長のまま、第三代院長に就任 礼拝堂の改築及びグラウンドの大改修	1970	
	1972	斎藤忍、高等学校長に就任
中学校・高等学校校舎落成	1978	
	1979	旧校舎跡地を中・高グラウンドとして完成
旧校舎4号棟を全面改修し、2号館とする 創立30周年記念行事として講演会(中野好夫氏)を開催 「横須賀学院の教育」出版	1980	
	1981	紀要「いなほ」創刊号発行
斎藤忍高等学校長、中学校長兼務	1982	
	1985	チャペル改修
	1989	阿部志郎理事、理事長に、斎藤忍中・高校長、第四代院長に就任 体育館落成
創立40周年記念行事として徳永兼一郎チェロリサイタル、 杉山清貴コンサート、山下泰裕講演会等を開催 小学校校舎落成	1992	
	1994	那須黒磯に校外施設「星望山荘」開設
菊地敏弘、中学・高等学校長に就任	1994	
	1996	週五日制完全実施及び制服改定
	1997	井苅莚子、小学校校長に就任
1号館空調設備完成	1997	
	1998	津田一路、第五代院長に就任
	1999	
中学校、第1回海外語学研修(イギリス・オックスフォード)を実施 小学校特別教室棟落成	1999	
	2000	
藤野利夫、中学・高等学校長に就任 1号館北棟にPC教室・MM教室完成	2001	創立50周年記念事業として □吹奏楽部定期演奏会 □ビッグアート【人文学】 □記念式典、感謝会、記念誌発行等を実施
	2002	選抜クラス設置 食堂外部業者へ委託「くすの木」開店 園岡昭夫、第四代理事長に就任
高等学校1年生から新カリキュラム・3類型での学習始まる。 総合学習・学校設定科目等の特色 堀田征雄、小学校校長に就任 高等学校 オーストラリアで第1回国際交流プログラム	2003	
	2004	小学校・中学校・高等学校で二期制実施
小見山茂樹、事務長に就任 マリアットビル高校来訪、学院オーストラリアウィーク開催	2005	本館外壁塗装工事
	2006	
1号館1階にカウンセリングルーム設置	2007	3号館(中学棟)定礎式。4月から中学生の中学等での生活が始まる。
	2008	
	2009	中学と高等学校に副校長制導入。中学校 マルタ共和国での語学研修 第2視聴覚室、第2音楽室大改修
学校法人青山学院と学校法人横須賀学院の「教育提携協定」締結 体育館奥に特別棟(小学校教室、営繕室、同窓会室)竣工 中学・高等学校3学期制へ回帰。高校1年次のみ土曜授業復活。	2010	
	2011	井苅莚子、第六代院長に就任 創立60周年記念事業 チャペル棟落成 60周年記念式典
新年教職員始業礼拝で青山学院山北宣久院長が説教	2012	
	2013	学校法人青山学院との教育提携の更新、双方の院長同士で協定書に調印 保々和宏、第五代理事長に就任
学校法人青山学院との教育提携の更新、双方の院長同士で協定書に調印 仲井宣雄、小学校校長に就任 青山学院との教育提携強化、提携校推薦入学枠を新設	2014	横須賀学院の「ミッションステートメント」制定 横須賀学院(小学・中学・高等学校)いじめ防止基本方針施行 オーストラリア・マイアミ州立高校生28名来訪。 横須賀学院・マイアミ州立高校 友好親善協定調印
	2018	二瓶浄幸、第七代院長に就任
創立70周年	2020	
	2024	
川名 稔、第八代院長に就任 天野 海走、中学・高等学校長に就任 山口 旬、小学校校長に就任		

■ 生徒在籍数 (2024年5月現在)

	横須賀学院中学校			横須賀学院高等学校 (一貫生)		
	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生
男子	60名	81名	64名	58名	40名	48名
女子	43名	48名	40名	41名	47名	38名
合計	103名	129名	104名	99名	87名	86名
クラス数	3	4	3	3	3	3

	横須賀学院高等学校 (高入生)		
	1年生	2年生	3年生
男子	184名	152名	219名
女子	228名	201名	256名
合計	412名	353名	475名
クラス数	10	10	13

■ 在校生の居住地域 (2024年5月現在)

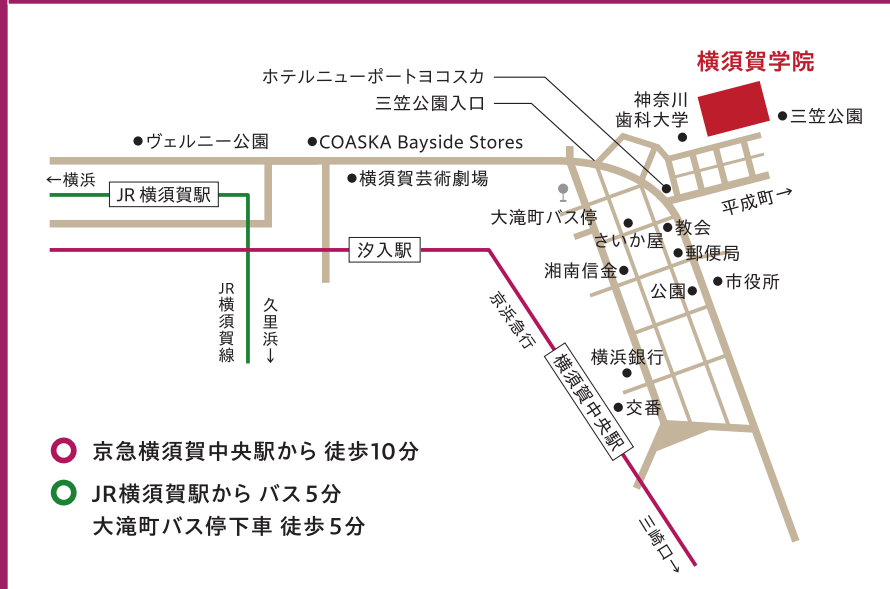


■ 併設小学校からの進学者数

	2024	2023	2022	2021	2020	2019
男子	6名	10名	15名	11名	9名	14名
女子	13名	10名	8名	9名	20名	13名
合計	19名	20名	23名	20名	29名	27名



周辺地図



学校説明会 [要web予約] ※上履きの持参をお願いします

9月 7日(土)10:00~11:30

11月 9日(土) 9:00~12:00 *入試問題体験会を並行開催

12月 7日(土)10:00~11:30

1月 11日(土) 9:00~12:00 *入試問題体験会を並行開催

※ご希望の方には、施設をご案内します

水曜ミニ説明会 [要web予約]

※実施日時につきましてはHPでご確認ください

入試問題体験会 [要web予約]

11月 9日(土) 9:00~12:00

1月 11日(土) 9:00~12:00

※2科目型(国・算)、4科目型(国・算・理・社)、適性検査型(I・II)のいずれかを選択してください

※学校説明会と並行開催となります

楠木祭(文化祭)

9月21日(土) 9:00~15:00

オープンスクール [要web予約]

8月10日(土) 10:00~13:00

公開行事はすべて、WEB予約制となっております。

今後状況によっては、開催日時の変更や中止の場合もありますので、必ずHPでご確認ください。

[6年一貫教育]

横須賀学院中学高等学校